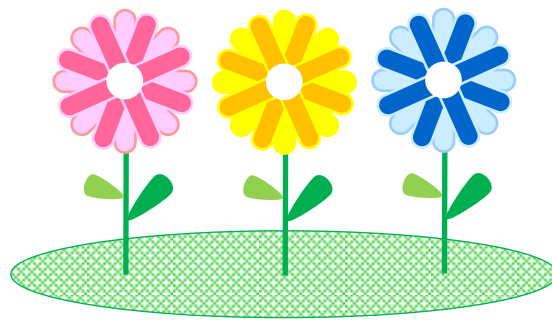

PTAをのぞいてみよう！

—2021 年度版—



PTA 活動は敷居が高いと思われがちですが、
その一因として、具体的な活動内容が知られていないことが挙げられます。

活動の一端を発信することで PTA 活動の支援に繋がたいという考えから、
“町田市公立小学校 PTA 連絡協議会” 加盟校をはじめとする
町田市立小・中学校 P T A の皆さまにご協力いただき、
活動紹介を充実させた「PTA をのぞいてみよう！」を作成しました。

目 次

1. PTAの概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

(1) PTAとは？

(2) PTAの位置づけ

2. 活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

(1) PTAって何するの？

(2) 活動紹介

i. 各校の活動

- ・町田第一小学校
- ・町田第三小学校
- ・小山小学校
- ・南第一小学校
- ・南第三小学校
- ・鶴川第一小学校
- ・ゆくのき学園大戸小学校
- ・南第二小学校
- ・南第四小学校

ii. 地域と連携した活動

3. その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

(1) 配慮が必要なこと

- i. 個人情報の取り扱いについて
- ii. 会員と非会員について
- iii. その他

(2) PTA 連合組織とは

巻末 資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

修正履歴

- ・2020年3月17日：(P9) 南第二小学校の活動紹介を追加
- ・2020年6月30日：(P9) 南第四小学校の活動紹介を追加
- ・2020年12月18日：(P11)「会員と非会員について」を修正
(別冊) コロナ禍におけるPTA活動の取組事例集、チェックリストを作成
- ・2021年11月15日：(全体) 町田市立小・中学校PTAにご協力いただいた
アンケートをもとに全体を修正
- ・2022年1月31日：(P10) 鶴川第一小学校の活動紹介を修正、(P13)「個人情報の取り扱いについて」及び(P15)「会員と非会員について」の事例紹介を追加

1. P T Aの概要

(1) P T Aとは？

⇒子どもたちの育つ環境をより良くする団体です

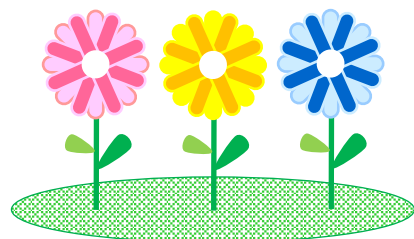
P T Aとは、Parent（保護者）－Teacher（教職員）－Association（連合）の各語の頭文字をとったものです。

P T Aは、女性にまだ参政権がなかった1897年、フィービー・アパーソン・ハースト婦人とアリス・マクレラン・バーニー婦人がワシントンD.Cにて「全米母親議会」を開いたのが始まりです。バーニー婦人は、この世に新しく生まれる子どもたちのために、幸せなよりよい境遇の新しい世界を作ることと考えました。活動には父親や教師、政治家を含めた多くの人たちが賛同したことから、「全米保護者教師議会」と名称を改め、後に「全米P T A団体」へと発展しました。

日本においては、戦後、連合国最高司令部（GHQ）がP T Aの組織を勧奨したことから、文部省（現文部科学省）が「教師と父母の会－教育民主化への手引き」を作成し、各都道府県教育委員会へ配布したのをきっかけとし、1950年には全国ほとんどの小・中・高等学校でP T Aが組織されました。

P T Aの本質は、学校に通うすべての子どもたちが豊かな学校生活や地域生活を送れるよう支えていくというものです。保護者と教職員によって学校に組織され、会員の総意に基づき自主的・民主的に運営されます。

主体性に基づいた団体のため加入は任意で、会員になれば誰もが自分の意志で活動に参加できます。子どもたちの健やかな成長を願い、話し合いながら楽しく活動することで、保護者も育ち合うことを目標にしています。



（２）ＰＴＡの位置づけ

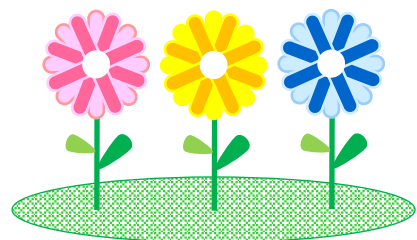
⇒学校から独立した存在です

それぞれの学校のＰＴＡ（単位ＰＴＡ、略称：単Ｐ）は、青少年団体や婦人団体などと同じく、「社会教育関係団体」と位置付けられています。社会教育とは、学校教育以外の教育を指し、多様な人々により多様な場や、さまざまな機会でおこなわれている教育です。

「社会教育関係団体」は、公の支配に属さない団体として法律に定められているため、単位ＰＴＡも学校とは別の独立した組織で、個々の規約（会則）を持ち、ほかの団体や機関から統制や干渉を受けません。

しかし、子どもたちが学校という舞台で一人ひとり輝けるよう、環境を充実させ、日々成長を見守るという想いは、ＰＴＡも学校も同じです。互いに連絡をとりあって連携を図り、相談をしながら、子どもたちの育つ環境をよりよいものにしていきます。

学校とＰＴＡは、相互に自主性を尊重し合いながら連携していくことが大切です。



2. 活動

(1) PTAって何するの？

⇒子どもたちが学校や地域全体でより豊かに育つよう、環境を充実させます

学校が内外での活動を単独で行うのには限界があるため、PTA が学校や地域との連絡窓口となり、連絡を取り合い、情報を共有して連携を図ることで、スムーズに子どもたちのための活動がおこなえます。

学校ごとにさまざまな活動がありますが、大きく3つの目的に分けられます。

活動①：子どもたちのための活動

＜例＞子どもの交通安全を見守る「旗振り」、運動会など各種学校行事の支援

活動②：学校、家庭、地域の架け橋

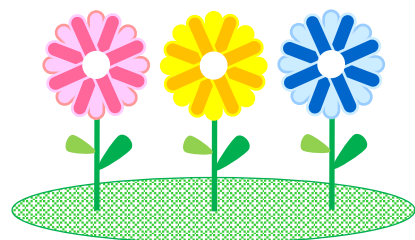
＜例＞夏祭りやレクリエーション大会の実施、
地域の遊び場で安心して遊べるよう放課後パトロールを実施

活動③：保護者のための活動

＜例＞父母を対象とした勉強会の開催、
学校新聞やPTAだよりなどの製作・配布による情報発信

活動にあたっては、学校でどのような教育活動が行われているか、教職員と保護者間で連絡し、情報交換をすることが大切です。学校の活動をサポートし、課題があれば会員同士で解決策を練り、場合によっては学校側に改善策を提案します。

なお、学校という公の場で活動するため、特定の政党や宗教を支持したり、営利行為に利用したりするなど、政治、宗教、営利を目的とした活動は禁止されています。



（２）活動紹介

⇒単位 PTA は個々の規約（会則）を持っているため、活動内容は多種多様です。

i. 各校の活動

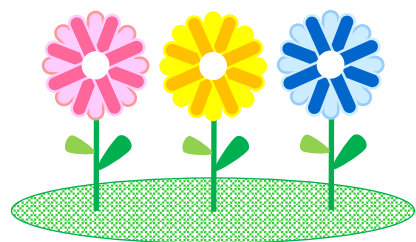
「町田市公立小学校 P T A 連絡協議会」加盟校にご協力いただき、活動に関するアンケートを実施しました！

アンケート内容

- ① PTA 理念、活動にあたって大切にしていること
- ② 活動する上で工夫していること
（多くの人が参加できる工夫、活動効率化の工夫 etc.）
- ③ 力を入れている活動

～「役員さんの声」編～

- ① PTA 活動をするにあたって、自分で工夫したこと
- ② PTA 活動をしていて良かったこと
- ③ 子どもとの関わりで変化があった点
- ④ 日々活動の中で感じること



町田第一小学校

PTA理念：子どもの”笑顔のため”を柱とし、時代に合った活動を心がける

活動をする上で工夫していること

- ①デジタル化の導入（HPで情報を一元化）
- ②事務処理の自動化

力を入れている活動

- ・新しい運動会の実施方法（生配信の導入等）
- ・コロナ禍でもできるイベントの提案
- ・各セクションの活動内容の可視化

PTA活動をしていてよかったことは？

- ・「歴代の役員（委員）の方々に感謝の気持ちが生まれたこと。」
- ・「チャレンジできる良い機会となり、スキルアップができたこと。」

子どもとの関わりで変化があったことは？

- ・「自分の友達に認知された。」
- ・「子どももPTAに興味を持ち始めています。」

工夫したことは？

- ・「会議での発言しやすい雰囲気づくり。」
- ・「情報の集約作業を簡素化しています。」

日々活動の中で感じることは？

- ・「変化の当事者になりたがらない傾向が強い。」
- ・「活動上の問題が明るみに出てこない。」

町田第三小学校

PTA理念：何よりも子どもたちのためになる活動と保護者先生地域の方のために

活動をする上で工夫していること

- ①係の仕事をわかりやすく説明し、仕事量を少なくする
- ②子どもと参加できる様に工夫する

過度な負担にならないよう、「出来る人ができるときに」を合言葉に、出来るだけ多くの保護者に参加してもらい、役員や係を担ってもらえるよう日々活動中です！

今年の標語・テーマカラー
「One for All, All for One」
ブルー・フラック

力を入れている活動

- ①敷地内にある梅（町田第三小の校章）の実で作った加工品を地域へ配布
- ②青少年健全育成地区委員会の行事
- ③校庭で行われる盆踊りを担うことで、物販利益で子どもたちのための備品を購入
- ④地域貢献として保護者地域の方とおこなっている読み聞かせ・ペープサート（学校の生徒、地域の保育園幼稚園などへ出前公演を実施）
- ⑤次年度に向け体育着・上履きなどの学校用品リサイクル販売準備
- ⑥PTA改革

PTA改革に力を入れています！

分かりやすい運営システムの構築

PTAって、噂とか伝言で代々引き継がれているものが結構あります。その「暗黙の了解」を無くし、活動を円滑に引き継いでいけるよう、文書に起こしておくことで誰でも担えるシステムをつくりあげています。

時代に合わせたPTAづくり

「母は専業主婦が当たり前」の時代に出来たPTAは、今の社会とはかけ離れている場合も多く、とくに本部役員などは、ワーキングママでは抱えられないような仕事量があります。町田第三小では、できるかぎり仕事量を分散化し、みんなに少しずつ担ってもらう事で、ワーキングママでも介護中のママでも、誰もが活動に参加できるようにしています。子どもをこの学校に通わせる保護者として、「お客さん」ではなく「当事者」として負担なく関われるよう、時代と個々のニーズに合わせ、色々なパターンの役割を作っています。

PTA活動をしていてよかったことは？

- ・「学校の様子がよくわかる」「先生方と色々な話ができる」
- ・「子どものためになっていると感じられる」

「任意団体として子どもの数が減る中、活動資金をどう確保していくか？」など、課題もあります

工夫したことは？

- ・「役員会の楽しい雰囲気づくり」
- ・「役員同士の情報共有」
- ・「子どもと参加できるPTA活動」

日々活動の中で感じることは？

- ・「行政の支援、協力、理解がもっとあると良い」
- ・「PTAはなくてはならないものだけど、役員はやりたくないと感じている保護者が多い。もっと気軽に楽しく関わりを持ってもらうにはどうしたらいいのか」

小山小学校

PTA理念：保護者と教員が学びあうことで教養を高め、成果を
家庭・学校・地域に還元し、子どもたちの健全な発達に寄与すること

活動をする上で工夫していること

【多くの人が参加出来る工夫】

- ①委員会における活動回数を減らし、ポイント基準を緩和
- ②役員、三役についての免除内容の見直し
- ③子どもに直結したお手伝いや、子どもと一緒に参加出来る活動を増やす
(スクールサポート係、開放プール、地域のお祭り、自転車点検など)
- ④期間は決めるが日時は指定せず、出来る時に行える活動を導入

【活動効率化の工夫】

- ①任期を2年にする(PTA本部活動への理解を深めてもらう・引継ぎの効率化)
- ②本部役員の増員
- ③HP活用
- ④LINE、情報共有ツール(カレンダー、データなど)の活用
- ⑤各役職に責任が偏らないように、全員で配布の確認や情報を共有する

PTAも「その時代にあった活動」としていくために、効率化や改善が必要なのはアップグレードしていく必要があると考えています

「何よりも一番は子ども達のための活動を」

子ども達の健全な成長を図るためには、学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割を果たしながら連携し合う事が大切です。

特に、学校と保護者の代表であるPTA役員が一致した教育を進める協力体制は、地域社会における子どもたちへの教育についても重要な役割を果たします。

そのため、学校と家庭、さらには、地域社会を結び架け橋としてのPTAが、本来の目的を果たすにはどのような活動が良いか、且つ、どのような組織が『これからの時代にあったPTA』として必要とされているかを考える(その意識を持つ)ことを、日々の活動にあたって常に大切にしています。

力を入れている活動 ～家庭、学校、社会における児童の福祉を増進するため、今後特に力を入れていきたい4つの活動～

- ①学校へのお手伝い～学校と保護者の関わりを深める～
教職員の負担軽減への支援を行い、学校の教育的環境の整備や充実化を図る
- ②子どもたちへの支援～子どもたちと共に～
PTA主催のイベントや検定試験など、子ども達を支援するとともに『挑戦する意欲』を育むためのお手伝い
- ③子ども達の安全を見守る～安心、安全な生活環境を守る～
学校内だけでなく、学校外における日常の子どもたちの安心・安全を守る活動
- ④地域社会との交流を図る～地域との関わりを深める～
地域行事のお手伝いのほか、青少年健全育成委員会やONWネットワーク協議会へ参加し、情報交換をします。
近隣の学校やPTA、市議会、町内会や子ども会などの代表者が集まって、イベントの相談や子どもたちの問題について考えています。

地域イベントのお手伝いはあくまで「連携の手段」です。市や地域団体と顔合わせをしておくことで、子どもたちに何かあった場合や災害時などに、よりスムーズに対応できると考えられるため、地域との良好な関係作り力を入れてきました。

PTA活動をしていてよかったことは？

- ・「学校へ行く回数が増えることで、学校の日常風景を見ることができ、子どもが普段どのような環境で学び、過ごしているかを知ることができた。」
- ・「学校や地域の方が子どもの名前を覚えて下さり、改めて、学校、保護者、地域の方々に見守られ、支えられていることを実感できた。」
- ・「PTA活動を通して、たくさんの知り合いが増え、人脈が広がった。」
- ・「普段見られない親を子どもが見たり感じたりでき、親子関係に良い影響を与えてくれた。」

工夫したことは？

- ・「できる人ができる時に、できることをする。
助け合いの気持ちを大切に、仲間が困っていたら手助けする。」
- ・「期日を守る。」
- ・「コミュニケーションをとる。」
- ・「役割分担を見直し、活動のしやすさ、作業の効率化を図る。」

「PTA会長」として工夫したこと！

- ①各専門委員会の活動にできる限り関わる
「委員会に出席し、三役との話し合いの場を増やし、また、活動のために来校されている保護者の方には積極的に声をかけ、直接、保護者の声を聞き、PTA組織の改善に反映させてきました。」
- ②連携を密に図るべく、学校、地域、それぞれと対話する機会を増やす
学校、保護者、地域と積極的(もちろんできる範囲内で)にコミュニケーションを図る工夫を凝らしていくことで、それぞれの考えや要望、現状、事情を踏まえた提案に直接触れ、今後のPTAに必要となる『残す(引き継いでいく)べきこと』と『変えていく、改善すべきこと』は何かを模索するヒントにしてみました。

日々活動の中で感じること

- ①「PTA活動を通して得られる楽しさ」
・ボランティア活動の楽しさに触れ、またそこで知り合えた仲間が自分自身の人生を豊かにしてくれているので、それを子供にも伝えたい。
・PTA活動の楽しさを伝え、参加したいと気軽に手を挙げられる組織を目指し、活動内容をPRしていきたい。
- ②「地域との連携の重要性」
子どもたちがのびのびと健やかに育っていくために、地域に住む大人の目や手が必要不可欠です。PTAとして、保護者と学校と地域が連携することはとても重要だと感じます。
- ③「PTA運営の難しさ」
『子どもたちのため』という目的は同じでも、保護者の生活環境の違いから、年々、PTAへの考え方や参加への関わり方が変化しています。そのため、ボランティア活動を運営する難しさを感じると同時に、どのような組織がその時代に合ったものなのか、どのような活動が一人でも多くの保護者に参加していただけるものなのかを考えながら日々活動しています。
制度や仕組みを整えて、結果的に保護者の負担を軽減する『スリム化』が、今後益々必要なのではないかと感じています

子どもとの関わりで変化があった点

- ・「学校の日常風景を見る事ができ、子どもとの共通点、話題が増え、より子どもの気持ちを理解することができた。」
- ・「子どもながらに活動を理解してくれ、『自分も』と言う思いからか、委員会やクラスの代表を決めるものに対し積極的に手を挙げてくれるようになった。」
- ・「子ども達がPTA活動を理解し、応援してくれているので、励みになっている。」
- ・「より多くの先生方と知り合い、先生方からアドバイスいただく機会も増え、気持ちに余裕を持って子どもと関われるようになった。」

南第一小学校

PTA理念：保護者と教師が協力して学校、家庭及び社会における児童のすこやかな成長をはかる

活動をする上で工夫していること

- ①保護者が、家庭、仕事の状況などを考慮しながら好きなタイミングで立候補できる
- ②各家庭、児童一名につき委員を一回以上やっていただくようお願いしているが、運営委員会、本部役員をやっていると、他兄弟分は免除

地域と密接に関わりながら、児童の成長を見守るということを大切に、日々活動しています。

夏休みの「ワクワクスクール」

地域と密接に関わり合いながら、子どもたちのための講座を開催！

子どもたちへ体験学習の機会を提供するため、様々な講座を開催しています。サッカーやテニスなどのスポーツ、工作、バームクーヘンづくりなど、子どもたちが楽しめる企画が盛りたくさん！「地区委員会」をはじめとするたくさんの地域の方々にご協力を頂きながら、毎年実施しています。

力を入れている活動

- ①毎年夏休みに「ワクワクスクール」を開催 ☆（さまざまな講座を、地域の方々のご協力を得て実施）
- ②近隣の飲食店や保護者から出店者を募り、バザーを開催（売り上げは、開校150周年記念プロジェクトに充てる）

PTA活動をしていてよかったことは？

- ・「児童や先生方の普段の学校生活の様子が見られること。他学年の先生とも交流が持てたこと。」
- ・「一つ一つの行事を支える先生方のお大変さや指導力を身近で感じることができたこと。」

工夫したことは？

- ・「仕事をしている保護者が増えてきているため、学校側に、会議の日程を早めに出していただけたようお願いしている。」

子どもとの関わりで変化があった点

- ・「子どもの学校生活が以前よりも見えるようになったので、子どもの話をより親身に聞けるようになった。」

日々活動の中で感じることは？

- ・「PTA活動をしていて良かったと思うことがたくさんあるにも関わらず、大変なイメージだけが先行してしまい、その良さを知ってもらうのが難しい。」

南第三小学校

子ども達が楽しく学校生活を送れるよう、学校と協力しながら活動しています。

活動をする上で工夫していること

- ①一家庭、年に一度はお助け隊として活動する
- ②役員は任期一年で、みんなが一度は参加するようにする
- ③就労している方が引き受けてくれた際、余分な仕事をなくせるよう前向きなアンケートを実施

活動にあたっては、効率よく活動することを心がけ、個人情報の取り扱いにはとくに注意を払っています

地域の人との関係づくり

学校と地域の架け橋に

さつまいも掘りは、地域の人の畑を借り、事前準備・当日と地域の方々に支えられながら実施しています！

力を入れている活動

- ①地域と協力してさつまいも掘りを実施
- ②学校内でのイベント（運動会、作品展など）
地域の人にも見に来てもらったり、作品展には地域の方の作品を並べて展示しました。

PTA活動をしていてよかったことは？

- ・「学校の様子がわかる。」
- ・「多方面の協力があって、子どもが日々楽しく安全に過ごせているのだと感じることができた。」

工夫したことは？

- ・「負担をなるべく減らすために、役割を分担しなるべく学校に行く日を減らすようにしていました。」

子どもとの関わりで変化があった点

- ・「親が行くと子どもが喜ぶ。」
- ・「親が役員をやっていると、子どももイベントごとをがんばる。喜ぶ。」

日々活動の中で感じることは？

- ・「子ども、先生のため、必要な活動はあるが、負担が大きい。」
- ・「一定の責任感を持ちながらも、共働きが増えている中、気軽に参加できるような役員づくりをしていきたい。」

鶴川第一小学校

PTA理念

子どもたちのために、保護者各々の自主性を重んじ主体的な活動を行う。

活動をする上で工夫していること

- ①デジタルトランスフォーメーション化を図ります。
Google WorkspaceやLINEビジネスを活用し、情報の発信やアンケート、連絡のやりとりなどをデジタル化。GoogleMeetやGoogleDriveを活用し、感染症対策を取りながら会議を進行したり資料を複数人で作成したり、デジタルツールを使ってDX化を図ります。予算もDX化に合わせ、見直して行きます。
- ②多様に柔軟に対応します。PTAへの加入・未加入はもちろん、現金だけでなく協力できるなど、多様に柔軟に対応します。
- ③やりたい人が、やりたいことをやる。それが集まった団体です。やらなければならないことを分散させる組織ではありません。

力を入れている活動

権利を楽しむこと。

小学校の保護者でいられる間にしかできないこと、その視点と権利を大切に、楽しんで活動します。

日々活動の中で感じることは？

保護者としてできることは何か。 それを教えてください。

私(会長)はおしゃべりで場を盛り上げるのが好きですが、講演会など黙って聞かなければならない行事は苦手です。ルールやマニュアルに従って行動するのは本当に苦手ですが、何も無いところからルールやマニュアルを作るのは大好きです。というように、みなさんにも〇〇は苦手だけど△△ならできる、ということがあると思います。それを、教えてほしいです。些細なことでもいいです。その集まりがPTAです。

PTA活動をしていてよかったことは？

- ①多様な価値観を知ることができる。
- ②自分自身のスキルアップにつながる。
- ③地域の子どもたちの、成長を楽しみにできる。
- ④自分の住む地域を知ることができる。
- ⑤教職員の皆さんと話す機会がある。

工夫したことは？

・日常会話から現状の問題点を洗い出し、どのようにしたら問題が解決できるのか、そのために必要なことは何か、学校や行政任せにせず、まず自分たちでできることはないかを考えること。・SDGsの観点を持つこと。・活動の中心にいる本部役員の主観に囚われず、家庭の数だけ家庭の常識があることを前提にし、活動すること。・子どもたちの教育や学校生活に関し、PTAは車の両輪のうちの片方であり、同じ方向を向いて前へ進むこと。・子どもの社会性を育む地域を大切にすること。・私達保護者自身が、子供とともに健やかで在ること。

ゆくのき学園大戸小学校

未来ある子どもたちの成長を、学校・保護者・地域が一丸となって見守り育んでいます。

活動をする上で工夫していること

- ①学年代表のほかに、スタッフ制度を導入することで保護者全員が活動に参加できるようにしています。
- ②役員会の数日前に、メールを送信するようにしました。忘れてしまって欠席する人が少なくなりました。

力を入れている活動

- ①グラウンドの芝生整備
1家庭につき年1回、先生方と行っています。
- ②学校行事の持久走大会での「豚汁づくり」
保護者役員が豚汁を作り、先生、生徒、保護者と一緒に食べています。
- ③地元のお祭りへの出店

PTA活動をしていてよかったことは？

・「知り合いがたくさんできて、色々な情報が入ってくるようになりました。」
・「先生方とも仲良くなれ、子どもの学校生活を聞くことが出来るので良かったです。」

子どもとの関わりで変化があった点は？

・「学校に行くことが多くなり、子どもは嬉しいようです。」

工夫したことは？

・「自分のできる範囲で、無理をせずに活動しています。」

日々活動の中で感じることは？

・「もっともっとたくさんの方が、役員は大変だという意識を捨て、ハードルを下げて活動に参加してほしいです。」

南第二小学校

「一人ひとりが出来ることを出来るときに」を大切に、活動しています。

活動をする上で工夫していること

- ・できるだけ負担にならないよう役割を分担。
お仕事のある方は、土日でも活動できるような係についてもらっています。

力を入れている活動

- ①放課後子ども教室の開催
地区委員さんにご協力いただき、放課後子ども教室などを開催。
PTAからも、地区委員さんの活動に協力するようにしています。
- ②夏のPTA開放プール

毎年大好評！夏のPTA開放プール

子どもにも保護者にも喜ばれるイベントを開催

水球日本代表を指導されている日体大の先生を講師としてお招きし、毎年実施しています。参加したら泳げるようになった！という子たちがたくさんいて、保護者からも好評です。
最終日には、ご好意で水球選手を呼んでくださり、水球ミニ試合を実施していただけることも。楽しみながら水と触れ合うことができるため、子どもたちも毎年楽しみにしてくれています。

PTA活動をしていてよかったことは？

- ・「多学年の保護者と交流できた。」
- ・「学校で子どもたちの様子をみるのができた。」

工夫したことは？

・「本部役員の人数を多くすることで、一人ひとりの負担を軽減しています。中には、年に1度のイベントを担当する係も。家庭や仕事の都合で活動を休んだとしても、他の人がいつでもカバーできるような体制にしています。『休んでも大丈夫』と、楽な気持ちで活動に参加できています。」

日々活動の中で感じることは？

- ・「活動する人、協力的な人は同じ人に限られてしまいがち。」
- ・「いろんな方々に支えられながら、PTA活動をしていると実感します。保護者、先生方、地域の人たちの三者が揃って協力することで、子どもたちが元気にかつ安全に学校に通うことが出来ているのだと、活動を通して日々感じます。」

南第四小学校

できるときにできることをモットーに子どもたちのために、学校、地域と連携して活動しています。

活動をする上で工夫していること

各活動にボランティアを募集することで、仕事の分散化を図るとともに、少しの時間でもPTA活動へ参加できるようにしています。

力を入れている活動

ベルマーク活動

自宅でするPTAボランティア活動を「おうちでベルマーク」と称し、ベルマークを各会社ごとに台紙に貼り付ける作業を進めていただきました。
地域の施設とも連携し、交流の良い機会となっています。

日々活動の中で感じることは？

・「『学校での子ども様子がわかった』『知り合いが増えた』といった良い意見がある一方で、いつも同じような人たちがPTAを担っていることへの不満が少々あります...。」

<今後の課題>

2017年に、「PTAは任意団体」という観点から、一人一役を無くし、加入も参加も自由であるという方向へ転身しました。そのため、スタッフの成り手不足に困っている面もあります。いかに加入数を減らさず、参加者を増やしていくかがここ数年の課題となっており、来年度も引き続きいろいろな方法を検討していく予定です。

コロナ禍での活動内容

- ・非接触型検温機器を学校へ寄贈
- ・様変わりする学校生活を過ごす子どもたちを応援するため、応援幕を掲示
- ・小学校へのマスク寄付を募集

PTA活動をしていてよかったことは？

- ・「学校に行く機会が増えるため、子どもたちの様子や先生方の一生懸命さが目に見えてよくわかります。」
- ・「コロナ禍での学校生活のひとつである『黙食している給食の時間』を体感しました。」

工夫したことは？

- ・「仕事をしている保護者が多いため、会議の回数を縮減し、必要があればラインで連絡しています。」

子どもとの関わりで変化があった点は？

- ・「子どもたちの学校での様子がわかったり、先生や地域の方々と深く関わり合えました。」

ii. 地域と連携した活動

2021 年度、町田市内の全市立小・中学校がコミュニティ・スクールへ移行したことに伴い、学校と地域がより強く連携・協力していく体制が整えられました。

そこで、町田市立小・中学校 PTA を対象としたアンケートを実施し、地域と連携した活動について、活動内容や課題などをお伺いしました。（回答 8 校）

A 校

自治会行事への参加の連絡窓口役

PTA 地区委員経験者から、「自治会行事への連絡窓口を PTA 役員が担うには負担が大きい」という声が上がっており、今後の課題です。

運営委員会で話し合い、来年度からどのようにしていくのがよいか検討することに。地域とのつながりをもちつつ、PTA 役員の負担も軽減できるよう進めていければと思っています。

B 校

みまもり活動

「通学路みまもり活動」の方々と一緒に旗振りを行うことで、子どもたちが安心して登校しています。

ベルマーク運動

近隣のケア施設に子どもたちが描いたポスターを掲示し、ベルマークを集めて寄付していただいています。お礼のお手紙などを含めて、**地域交流の良い機会**となっています。

ケア施設や地区委員会との“夏祭り” 近隣高校や地区委員会との“星を見る会”

※コロナ禍で、上記2つは中止

C 校

登下校の見守り活動、まちとも、 町田市青少年健全育成地区委員会 など

今後の課題：

児童数減少により、子ども会の運営・維持が困難になってきており、子ども会活動自体がなくなっている地域もあります。隣接する地域の子ども会との合併等を検討するも、遠方過ぎることや年会費・活動内容等の総意、いちばんは「年度内に大きな改革をし、編成を変えること」に対する子ども会役員さんの心身の負担が大きく、簡単なことではありません。子ども会活動の好事例などの情報発信もあると良いと考えています。

D 校

地域のお祭り（年 1 回）

新型コロナウイルス拡大の前は、地域の方にも出店いただくなどして、お祭りを盛り上げてきました。**その年の生徒にはどのような子どもたちがいるのかを見ていただく良いきっかけにもなり、地域で子どもたちを守っていく基盤**となっていました。

今後の課題：

新型コロナウイルス拡大をきっかけとして、お祭りの形を変える可能性が出てきました。**今の時代に合った新しい形を考えていくことも、地域と連携するからこそ必要な改革**だと思います。少し時間はかかりますが、より良いかたちをみなさまと議論していく所存です。

E 校

地域の子ども会代表との意見交換会 （年 6 回）

町内会や地域の問題点が挙がった場合は、解決に向けて対応するようにしています。

F 校

団地自治会主催の納涼祭、夏祭りへの出店

スタッフとして毎年参加していただいている保護者も多く、充実感のある活動です。

地域の方と保護者で行う挨拶運動（各学期初め）

長く続けてきた活動ですが、ご協力いただいていた方が高齢になり、活動の継続が課題となっています。

飼育動物の世話、ホテルの里清掃、 校庭の芝生管理 など

様々な活動に地域の方々の力をお借りしています。ご協力いただいている方に、どのように感謝の気持ちを伝えるかが今後の課題です。

G 校

地域の実行委員会、大学、小・中学校 と連携した“フラッグアート”

授業の中でフラッグアートを制作してもらった後、PTA が駅前や恩田川沿いに展示～撤去までを行います。子どもたちだけでなく、保護者としても**地域への愛着が湧くイベント**となっています。

3. その他

(1) 配慮が必要なこと

i. 個人情報の取り扱いについて

⇒個人情報保護法に基づいて、適切に管理する必要があります。

平成29年5月30日に個人情報保護法が改正され、改正前は5000人以下の個人情報を取り扱う事業者は法の対象外とされていましたが、改正後はすべての事業者に個人情報保護法が適用されることとなりました。これに伴い、PTAにおいても、個人情報を取り扱う場合には法に基づいた適切な対応が必要です。

個人情報の利用目的を明確にする、本人の同意を得ずに第三者に情報を提供しないなど、より慎重な対応が求められます。

○事例紹介（町田市立小・中学校PTA アンケート結果から）

Case 1：個人情報の保管場所と取り扱う範囲について

A校：会員の個人情報を記入してもらう「PTAカード」※は、PTAと会員間でのやりとりには専用封筒を用いるとともに、PTA室内の鍵付き戸棚で管理しています。年度毎に鍵の保管場所を変えており、取扱いできるのは本部、委員長、学年代表のみに制限。特に守秘義務のあるセンシティブな情報については、問題ごとに最小限の共有範囲となるよう精査した上で、さらに限られた者だけが取り扱うよう配慮しています。

また、個人情報はデータとしても扱う時代になったので、PTA会則の附則として、個人情報に係るもののほか、データで扱うためのものと付け足しています。

※「PTAカード」とは？…会員氏名、生徒氏名、入学時・各年度末での係希望等を記載してもらうもの。入学から卒業まで使用することで、会員の必要な配慮が次年度へ漏れなく伝わる利点がある。

Case 2 : “PTA 会員同士の連絡手段として LINE を使用すると、
LINE 上で多くの知らない人とつながってしまう”

B 校 : 2021 年度を移行期間として、「39メール」というスマホ向けメール配信システムを導入。LINE グループや回覧板による連絡手段を廃止し、PTA からのお知らせも「39メール」で配信していけるよう、1 年間かけて整備していくことに。会員への周知は、保護者会での説明と手紙の配布で行いました。今はまだ紙面配布との併用で運用していますが、紙削減・役員の印刷業務の軽減にもつながっています。

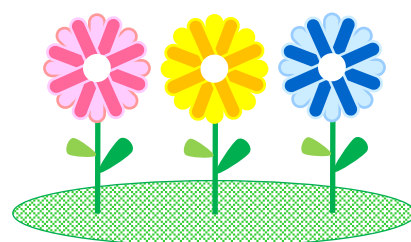
Case 3 : インターネットサイトを活用した行事写真の販売について

C 校 : 保護者の見学ができない行事において、インターネットサイトを活用し、学校や PTA が撮影した写真販売を試みました。PTA の利益が出ないよう、業者側の印刷代と送料のみです。セキュリティ対策を施してあるサイトとはいえ、インターネット上に写真を掲載することになるため、事前に保護者や生徒本人の了解をきちんととった上で行いました。

日頃から、何かをする際には「個人情報を守られるのか？」と気にかけて話し合うようになってきています。

Case 4 : 会員名簿のクラウド管理について

D 校 : 紙で管理している PTA 独自の会員名簿を、2022 年度からデータのみに移行し、Google ドライブでクラウド管理します。何の情報か、何のために必要なのを見直し、GoogleForm などのアンケートアプリで作成して提出してもらうことで、手間がかからず本部の負担の軽減になると思います。クラウド管理のメリットとしては、複数で作業することができるため誰か一人の負担にならない、PTA のパソコンを使うために学校へ出向く必要がない、といったことが挙げられます。



ii. 会員と非会員について

⇒考えられる課題を確認し、事前に対応を話し合っておきましょう。

各事業の実施に当たっては、各会員から会費を集め、運営、行事主催、団体保険等の活動資金に充てています。そのため、以下のような場合に問題が生じる可能性があります。考えられる課題を確認し、事前に対応を話し合っておくことが大切です。

- ・PTA 発行の広報紙や印刷物を配布する場合
- ・PTA が費用を負担して行事を実施する場合
- ・PTA が購入した物品を児童、生徒に贈る場合
- ・PTA 主催行事で非会員に事故があった場合（保険が適用されないため）など

○事例紹介（町田市立小・中学校 PTA アンケート結果から）

Case 1： “PTA が購入した記念品を児童・生徒へ贈るときは？”

A 校：「PTA 活動の必要性は感じるものの、委員会や役員活動はできない」という保護者の方が本校にも数名おられますが、中には寄付というかたちで会費を納入してくださっている方もいらっしゃいます。いずれにせよ、会員と非会員の区別はせず、児童・生徒への還元は一律に行っています。

Case 2：“年度途中で転校した場合、PTA 会費をどうするか？”

B 校：1 学期のみで転校してしまった方については、ほとんど PTA 活動に参加できなかったことを踏まえ、転校前に返金できるような規約としています。一方で、転校の要因は人によりさまざま考えられ、規約に定めたからといえど一律に同じ対応が取れるとはかぎりません。そのため、転校生への対応については、学校側と相談しながら、個別の状況に応じた柔軟な対応をしていくべきであると考えています。

Case 3：“誤って「会費納入のお知らせ」を非会員にも配布してしまった！”

C 校：原因は、「非会員」と「正会員」の区別がしっかりできていなかったこと、及びその最新情報が一元管理されていなかったことでした。対策として、会員情報データの一元化を検討中です。しかし、非常に複雑な仕組みで難儀しており、今後の大きな課題となりそうです。

Case 4：“名簿と会費の名称を変更します”

D 校：2021 年度までは、名簿の提出と会費の納入で入会とみなしていました。100%加入ではありませんが、90%は超えています。2022 年度からは名簿を入会届と変更し、会費も「協力金」という名称に変更します。会費というと、非会員がサービスの享受を受けられる不平等感がどうしても否めないため、「すべての子どもとその保護者全員のための活動である」ことを会員が理解し、その活動に現金を支払って協力の意思表示として納入できるようにします。逆に、会員にはならないけどお金だけは協力できる、という保護者にも対応します。

※2022 年 1 月後半に臨時総会を実施し、改正予定

iii. その他

A 校：仕事と家庭、PTA 活動が両立できるように配慮しています。SNS ツールを活用することで、学校へ集まらなくとも活動内容の打合せ等ができるようにし、定期的な集まりの回数を減らせるよう工夫しています。

B 校：コロナ禍で、役員だけでなく、保護者の皆さんと交流する機会が減っています。学校の HP に PTA のページを設けていただき、誰でも記入できる質問コーナーを作ることで、皆さんの意見を聞くように心掛けています。また、meet 等の SNS ツールを活用し、緊急事態宣言下でも役員会議や委員会などが開催できるように工夫しています。

C 校：ご家庭の事情やお子さまの事情には配慮、対応しています。任意である以上必要なことだと考えています。どちらかというと、説明の段階で保護者も学校作りの一員であることをしっかり説明し、そのために必要最小限の活動をしている団体であることを知って頂くことが大切だと思います。

D 校：働き方や家庭環境に多様性が見られる中、PTA 活動だけが旧態依然としていくことは疑問です。近年、コロナ禍で生活状況が変わったご家庭もあるでしょうから、平日の会議や学校行事への関わり方、役員選出など、PTA 内で検討の上、今までの活動の仕方は改善が必要になると思っています。

(2) P T A 連合組織とは

⇒それぞれの学校の P T A (単位 P T A) が地域ごとに集まった連合体です
郡市、都道府県・政令指定都市、地域ブロック、全国と組織されています

P T A 連合組織は、単位 P T A の活動の輪を広げ、地域における P T A 活動を活性化させる大切な役割を担っています。単位 P T A の代表者で構成されており、情報交換会や研修・交流会などを実施することで、単位 P T A での個々の活動にも役立てられています。

町田市内においては、市立小学校で「町田市公立小学校 P T A 連絡協議会 (略：小 P 連)」、市立中学校で「町田市立中学校 P T A 連合会 (略：中 P 連)」が組織され、活動しています。

○活動紹介

P 連として活動してみて良かったこと！



「町田市公立小学校 P T A 連絡協議会」の皆さんに伺いました



①「情報交換会」で様々な人と出会い、視野が広がる

加盟校のほか、教育委員会から教育委員さんや校長会の先生、PTA 担当職員も参加し、子どもたちを取り巻く教育環境をより良くするために、みんなで議論を行っています。保護者と市側で直接意見交換できるため、とても貴重な機会となっています。また、単位 P T A での困りごとにも相談することができ、先駆者が必ずいるので、眼から鱗な情報が手に入り、解決策につながるヒントがたくさん得られます。

②保護者の意見を市に発信していく場が得られる

市の各審議会等へ委員として出席しているため、普段知ることのできない市政情報がたくさん得られるだけでなく、保護者の生の声を伝えることができます。

③町田市への要望書提出を通して、保護者のニーズを伝えていくことができる

単位 P T A では要望書の提出が難しいため、P 連最大の強みとなっています。もちろんすべての要望がそのまま通るというわけではありませんが、実現が難しい要望については理由を丁寧に説明してもらい、代替案を検討してもらったりします。市に保護者側のニーズを知ってもらう大切な機会でもあるため、要望書は毎年提出しています。

④教育委員会からいち早く種々案件の報告をしてもらえる

学校運営・教育に関する気になっていた情報を、いち早く知ることができます。市側からの希望で新しい事業等の説明に来ることもあります。要望すれば、気になっている事業の担当職員に「情報交換会」へ出席してもらうこともできます。

資 料

「PTAをのぞいてみよう！-2021年度版-」 【アンケート回答用紙】

日頃よりPTA活動をととして教育行政にご協力いただき、ありがとうございます。

「PTAをのぞいてみよう！-2021年度版-」を作成するにあたり、
下記のアンケートに回答願います。
なお、回答欄が足りない場合は、お手数ですが回答欄を広げて記載してください。
この様式以外のものでご提出いただいても構いません。

①活動紹介（PTAをのぞいてみよう！2019年度版P5～P10参照）

※町田市公立小学校PTA連絡協議会2021年度加盟校のみ

「PTAをのぞいてみよう！2019年度版」に記載されている活動紹介について、内容の更新（加筆・修正など）をお願いします。新たに行った取組やコロナ禍での活動の工夫などがあれば、ぜひ教えてください。
※添付している「PTAをのぞいてみよう！-2019年度版-」電子データを修正してください。電子データを印刷し、直接記入して紙で提出いただいても結構です。

※以下、②③の項目については、学校・個人等が特定されないように配慮して掲載いたしますので、ぜひご回答ください。

②その他（PTAをのぞいてみよう！2019年度版P11参照）

こちらのページは、PTA活動を行う上で、配慮が必要なこととして、個人情報の取り扱いや会員と非会員に関する課題について掲載しています。こういった内容に関連した相談が多く寄せられていることから、PTA活動をしていく中で、課題や問題になった事例、またその解決策などをお伺いし、PTA活動を円滑に進めていくための参考になる情報を掲載していきます。
貴校で、困った事例や問題になった事例、またその解決策があれば、ぜひ具体的に教えてください。

③地域との関わり(新項目)

町田では、2021年度から市立小中学校がコミュニティ・スクールに移行したことにより、学校と地域がより強固に連携・協力する体制が整えられました。PTA活動においても、町内会・自治会などの地域との関わりが多くあると聞いています。こちらの項目では、PTAと地域が連携・協働して行っている活動を収集し、他のPTAの活動事例を通して、新しい活動を行うきっかけとなる情報を掲載していきます。
貴校で、他の団体と連携して行っている活動があれば、活動内容や活動をして良かった点、今後の改善点を、ぜひ具体的に教えてください。

—2022 年 1 月発行—

この冊子に関するお問い合わせ

町田市教育委員会

生涯学習部生涯学習総務課

TEL：042-724-2181